

徂徠センター長 が「2001 年度ハフマン賞」を受賞

2001 年 7 月末から 8 月にかけて米国コロラドスプリングスで開催された第 56 回カロリメトリー会議において、2001 年度ハフマン賞 (Hugh M. Huffman Memorial Award) が徂徠道夫センター長に授与されました。この賞は、カロリメトリー会議の創立 (1946 年) に中心的な役割を果たした著名な化学熱力学者 Hugh M. Huffman 博士が、51 歳という若さで逝去されたことを悼み、故人の偉業を記念して 1954 年に設立された賞であり、化学熱力学研究における長年の世界的貢献に対してその栄誉を賛えるものです。



徂徠センター長は約 40 年にわたりさまざまな機能性化合物の精密な熱容量測定を極低温から高温にわたる広い温度領域で行い、相転移現象を通して機能発現のしくみを解明する研究を精力的に展開されてきました。とりわけ電子が直接的に関与するスピントロニクス現象、混合原子価錯体における分子内電子移動、サーモクロミズム現象などにおける熱力学的研究を、世界に先駆けて開拓したことが評価されたものです。7 月 30 日の開会式に続いて、カロリメトリー会議の会長 M.A.White 教授 (Dalhousie 大学, カナダ: 写真右) と今年のプログラム委員長で次期会長の A. Smith 教授 (Drexel 大学, 米国: 写真中央) から賞状が手渡され、引き続いて「電子が直接的に関与する相転移現象の熱力学的研究」と題した受賞講演が行われました。

この賞は毎年一人に授与されますが、日本からは 1992 年に受賞された前センター長の菅宏教授 (現名誉教授) に続いて二人目となります。仁田勇名誉教授・関集三名誉教授により創始された化学熱力学の研究が、本学の輝かしい伝統として発展し続けていることは喜ばしい限りです。

(齋藤一弥)

The 56th Calorimetry Conference
Presents

The Hugh M. Huffman Memorial Award

To

Michio Sorai
Osaka University

In Recognition of
Long Term Contributions to Thermodynamics
Involving Thermochemistry and/or Calorimetry

Allan L. Smith

Program Chair

Maya Lou White

Chair

August 2001
Sponsored by Calorimetry Sciences Corporation